第1号様式(その1)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特別地域特別保護地区海域公園地区 | 内における工作物の | 新築改築増築 | 許可申請書 |

年　　月　　日

　　大分県知事　　　　殿

住所

申請者

氏名

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 法人にあっては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名 |

　　　　　　　　　　　特別地域　　　　　　　　　新築

　　　　　　国定公園の特別保護地区内における工作物の改築の許可を受けたいの

　　　　　　　　　　　海域公園地区　　　　　　　　　増築

　　　　　　　　第20条

　で、自然公園法第21条第3項の規定により、下記のとおり申請します。

　　　　　　　　第22条

記

|  |  |
| --- | --- |
| 目的 | 　 |
| 場所 | 　 |
| 行為地及びその付近の状況 | 　 |
| 工作物の種類 | 　 |
| 施行方法 | 敷地面積 | 　 |
| 規模 | 　 |
| 構造 | 　 |
| 主要材料 | 　 |
| 外部の仕上げ及び色彩 | 　 |
| 関連行為の概要 | 　 |
| 施行後の周辺の取扱い | 　 |
| 予定日 | 着手 | 年　　　　月　　　　日 |
| 完了 | 年　　　　月　　　　日 |
| 備考 | 　 |

注（削除）

　　1　「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生等及び海域公園地区にあっては、海底の形状、着生する動植物、水深(干満)、潮流等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　　2　「関連行為の概要」欄には、支障木の伐採(樹種、本数、面積等)、支障となる動植物の除去、敷地造成(面積、切土盛土量等)、残土量とその処理方法、工事用仮設工作物の設置等申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　　3　「施行後の周辺の取扱い」欄には、跡地の整理、修景のための植栽等風致景観の保護のために行う措置を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　　4　「備考」欄には、次の事項を記入すること。

　　　(1)　他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続の進捗状況

　　　(2)　土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は土地所有者の諾否又はその見込み

　　　(3)　過去に自然公園法の許可を受けたものにあっては、その旨並びに許可の年月日、番号及び付された条件

　　　(4)　当該申請に関する連絡先（電話番号又はメールアドレス）。なお、申請者と担当者が異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等を記載すること。

　添付図面1　行為の場所を明らかにした縮尺2万5千分の1程度の地形図

　　　　　2　行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺5千分の1程度の概況図及び天然色写真(カラー写真)

　　　　　3　行為の施行方法を明らかにした縮尺千分の1程度の平面図、立面図、断面図、構造図及び意匠配色図(立面図に彩色したものでも可)

　　　　　4　行為終了後における植栽その他修景の方法を明らかにした縮尺千分の1程度の修景図

　　　　　5　その他行為の施行方法の表示に必要な図面

　　　　　※　行為の規模が大きいため、各号に掲げる縮尺の図面によっては適切に表示できないと認められるときは、当該施設の規模及び構造に応じて適切と認められる縮尺の図面をもって、これらの図面に替えることができる。